

所見

先ずはJSCA30周年事業開催のためにご尽力いただいた委員メンバー、及びイベント当日の搬入準備からイベント当日のお客様の迎え入れ、試乗会やカヌー販売、商品販売まで多岐にわたる業務に携わっていただきました各地から出席の公認スクール代表者様と協会会員皆様に御礼を申し上げます。たいへん有難う御座いました。

10月12日（金）晴れ

前日搬入には、17名の委員と公認スクール代表者にて準備。駐車場ロープ張りとSWENイベント場所とJSCAイベント場所の決定打ち合わせ、JSCAバナーの取り付け、受け付け場所の設置、SWENとJSCAの夜の部イベントの詳細な打ち合わせを行いました。手慣れているSWENの方は、総勢6名のスタッフでした。

10月13日（土）晴れ時々曇り

朝の6時にはすでに出店メーカー様が多数来場。開場後早速支度に取り掛かりました。メーカー様のブース作り、カヌーカヤックや商品の陳列など、多くの手がかかる作業も、公認スクール代表者はもとより、スクールに所属の関係スタッフまでもが手伝ってくれ、開場の9時前にはしっかりと来場者を迎え入れる準備が整いました。

8時より委員メンバーと公認スクール代表者とそのスタ

ツフのミーティング開始。8時半よりメーカー様とのミーティングを実施しました。

9時の受け付け時前から、遠方からの来場者が早速ご来場いただきました。

心配していた来場者数に対し、なかなか早い段階から多くの方が訪れてくれました。

キャンプイベントのコールマンコーナーでのバーナーメンテナンス教室や、丸太切り競争大会、トートバッグの手書き製作など、水辺のカヌー試乗のほか、多彩なイベントで会場は各所で賑わいを見せていました。

夜の部では18時よりJSCAメンバー（中谷さん、阪井さん、SENTOMの豊島さん）の手慣れた演奏会を皮切りに、キャンプファイヤー点火式、歴代の役員によるトークショー、出店メーカー様の協賛品を掛けたじゃんけん大会などで盛り上がりました。中でも演奏会はこういったアウトドアイベントでは来場者の心を一つにし、たいへん喜ばれておりました。

一般参加来場者数は13日（土）は121名、14日（日）は87名、延べ人数208名の方々に参加いただきました。テントサイトへの宿泊は33サイトになりました。

ちなみにSWENイベントにはテント27サイト、140名の来場者数でありました。

10月14日（日） 曇り一時雨

朝7時、イベントの始まりは早朝カヌーツーリングです。総勢30名の参加者。皆おもいおもいのカナディアンカヌーや、シーカヤック、レジャーカヤックに乗り込み、約1時間半ほど静まりかえった湖面をパドリングしました。

1日の始まりの前に、非常に穏やかな雰囲気味わうパドリングとなり、参加者は一服したり、パドリングを止めて景色をゆっくり楽しんだり、雨もあがり時折差し込む朝日を仰いだり、様々な感情を心地よさとともに味わっているようでした。

参加者の安全確保のために一緒に漕いだ公認スクール同士も、湖面でのパドリングはもとより、久々の会話も弾んでおりました。

9時からの開場では、空は雨模様。来場者の数もなかなか伸び悩んでいましたが、SWENのアウトドアイベントに参加の皆様がカヌー試乗体験に参加をいただき、数を伸ばすことができました。コラボイベントの重要性を感じた次第です。

開催準備からイベント終了まで怪我や事故もなく、JSCAの参加来場者、SWENの参加来場者ともに大変充実した2日間であったと評価を得ましたし、次回に繋がるイベントであったように思います。

全国組織である協会活動においても、今後全国各地での

開催をも考えられるでしょうし、出店メーカー様からも、是非とも継続的に開催を望まれる声を多数いただきました。

まずは私の所見を配信させていただきます。

本文章とは別に、精算書の送付、出店メーカー様及び参加された公認スクール代表者様宛にはアンケートの実施を行いますので、後日配信させていただきます。

本事業の成功と、今後へのアプローチに参考となれば光栄です。

ご協力各所に御礼を申し上げます。

30周年事業実行委員会 委員長 遠藤秀男